テクニカル・メッセージ

デュトロのパーキングブレーキの操作方法及びパーキングブレーキの調整方法について

パーキングブレーキの誤った使用方法や整備により、思わぬ事故や故障につながる恐れがありますので、下記の要領で正しい操作及び整備を徹底して頂く様、お願い致します。

1. 対象車両

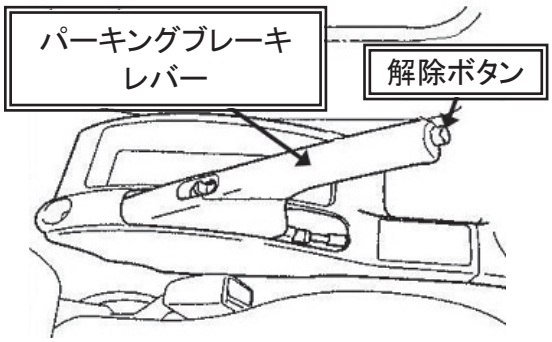
小型トラック　デュトロ全車

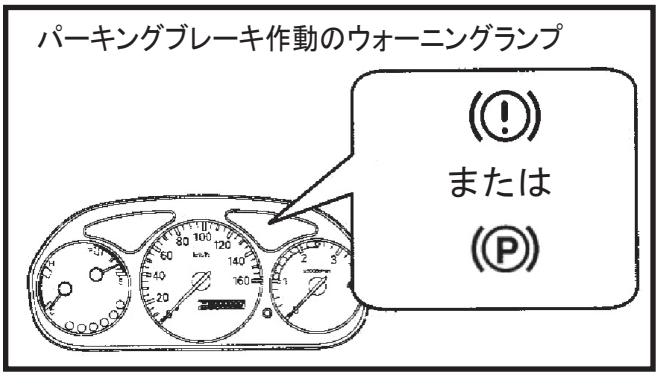
2. 操作方法について

【パーキングブレーキをかけるとき】

●確実に車両が停車した事を確認し、右足でブレーキペダルをしっかり踏みながら、解除ボタンを押さずに、パーキングブレーキレバーをいっぱいに引いて下さい。

●スターターキーが「ON」の時、メータ内のパーキングブレーキ作動のウォーニングランプ「(!)」または「(P)」が点灯します。





【パーキングブレーキを解除するとき】

●パーキングブレーキレバーを少し引き上げ、解除ボタンを押しながら完全に下まで戻して下さい。

●発進時はメータ内のパーキングブレーキ作動のウォーニングランプが消灯している事を確認して下さい。

パーキングレバー操作時の注意

・緊急時以外は走行中に、パーキングブレーキを使用しないで下さい。走行中に使用すると、後輪がロックして車両が不安定になり、事故につながる恐れがあります。

・緊急時にパーキングブレーキを使用した時は、故障していないか必ず点検をして下さい。

・パーキングブレーキをかけたまま走行しないで下さい。ブレーキ部品の早期摩耗を招くほか、過熱で効きが悪くなったり、火災の原因にもなります。

・駐停車の時は、パーキングブレーキレバーをいっぱいに引いて、車両が停止状態を保持する事を確認して下さい。

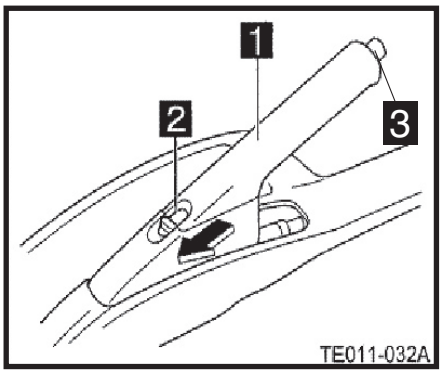
・坂道に駐車するときは、パーキングブレーキを確実に効かせ、タイヤに輪止めをかけて下さい。

・車両が完全に停止する前に、パーキングブレーキレバーを引かないで下さい。

日野自動車

【可倒式レバーの取り扱い方法について】

●パーキングブレーキを効かせた状態でパーキングブレーキレバーを倒す事ができます。



1 パーキングブレーキレバー
2 可倒ノブ　3 解除ボタン

1）倒す時

可倒ノブを手前に引き、解除ボタンを押さずにパーキングブレーキレバーを下げます。
（可倒ノブ上部に赤色マークが現れます。）

2）戻す時

パーキングブレーキレバーを元の位置まで引き上げます。
このとき、可倒ノブも元の位置に戻ります。
（可倒ノブ上部の赤色マークが隠れた事を確認して下さい。）

注意事項

・可倒式レバーを倒した際、パーキングブレーキは解除されません。スターターキーが「ON」の時、パーキングブレーキ作動のウォーニングランプが点灯している事を確認して下さい。

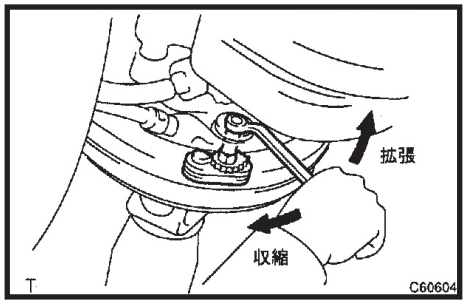
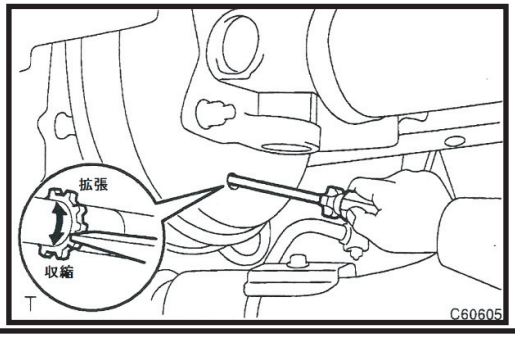
3．調整方法について

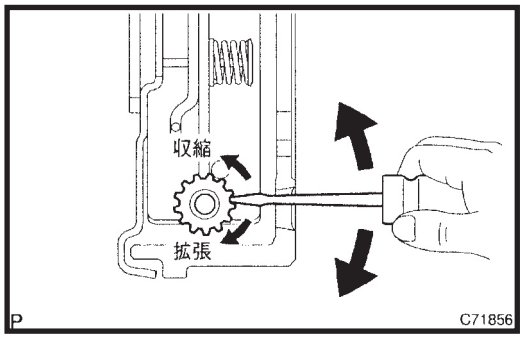
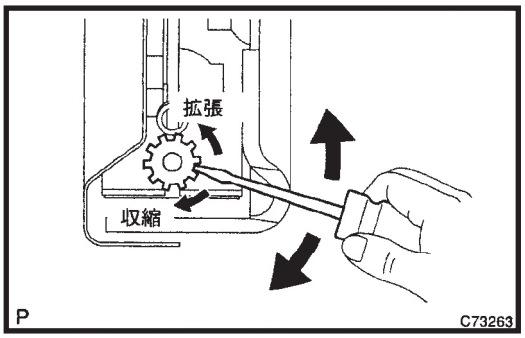
パーキングブレーキ調整時の手順について、以下の手順を遵守下さるようお願い致します。
（整備解説書に記載済）
尚、パーキングブレーキを調整する場合は、必ずパーキングブレーキドラム内のシューギャップを調整後にパーキングブレーキレバー側で引き代調整をして下さい。シューギャップ調整を行わずパーキングブレーキレバー側の調整のみ行った場合、パーキングブレーキを破損させてしまう場合があります。

1）パーキングブレーキドラムギャップ調整

①車両を平坦な場所に止め、輪止めをし、パーキングブレーキレバーを下げる。
②車両をジャッキアップし、リジットラックで支える。
③6．3インチ及び7インチドラムの車両はシューアジャスタを正面に見て反時計方向へ回し、シュードラムを密着させる。7．5インチ、8インチ、200㎜ドラムの車両はアジャスティングスクリューを拡張させシューをドラムに密着させる。
④ドラムがロックしていることを確認後、下表の通りにギャップ調整を行う。
⑤引きずりがないことを確認する。

【各パーキングブレーキドラム調整量及び調整方法】

種類	6.3インチ 及び 7インチ （アイシン製トランスミッション車）	200㎜ （アイシン製トランスミッション車）
調整量	アジャスタを時計方向に1ノッチ戻す	アジャスティングスクリュを7～10コマ回す
調整方法		

種類	7,5インチ （いすゞ製MYYトランスミッション車）	8インチ （いすゞ製MZZトランスミッション車）
調整量	アジャスティングスクリュを30コマ戻す	アジャスティングスクリュを13コマ回す
調整方法		

注意事項

・ パーキングブレーキレバー側の引き代調整前に、必ずブレーキドラム側のギャップ調整をして下さい。

2）パーキングブレーキ引き代点検・調整

①パーキングブレーキホールカバーを取外します。

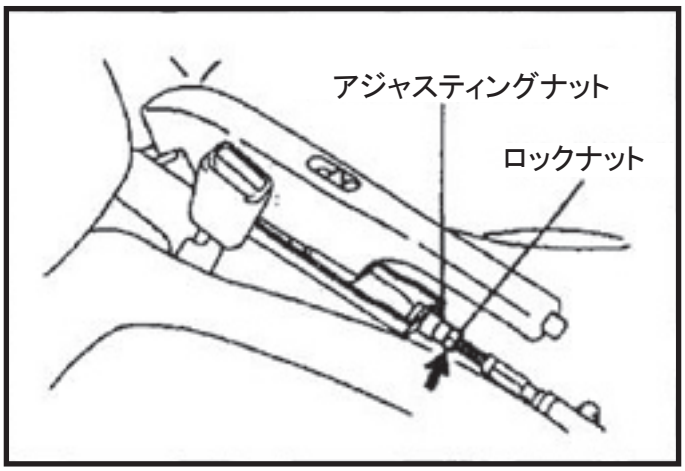
②パーキングブレーキレバー側で引き代点検を実施し必要に応じて調整を行う。

レバー引き代基準値 ： 6～10ノッチ（操作力245N）

点検前に490N以上の力で5回以上繰り返しレバーを操作し、ロックナットを緩め、引き代が基準値内になるようにアジャスティングナットを回し調整する。

③ロックナットを締め付ける。

ロックナット締め付けトルク基準値 ： 5．4N・m



④パーキングブレーキレバーを4，5回操作後に、再度引き代が基準値内にあるか確認する。

⑤パーキングブレーキに引きずりがない事を点検する。

⑥パーキングブレーキ作動時に、メータ内のインジケータランプが点灯することを点検する。

点灯基準 ： レバーを引き始めてから、1ノッチかかる前にランプが点灯する事

⑦パーキングブレーキホールカバーを取り付ける。